

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム ウェルネス津川

目標達成計画

作成日：令和 5 年 1 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	11 (7)	風通しが良いからこそ、支援のベクトルを合わせる工夫をしてみたいかがでしょうか。	入居者にとってより快適な生活環境になるよう、また職員にとっても一層働きやすい環境となるように話し合える環境を整えていく。	ユニット会議だけでなく、状態の変化等により都度、話し合いの場を設け、担当者がケアの方向性を示し、チーム全員で同じ目標に向けケアできるようにする。ホーム長による職員面談(職場環境・働き方等について)の回数を増やし職員の声をしっかり聴く時間を持つ。 6ヶ月
2	33 (12)	看取りの質をより高めてみたいかがでしょうか。	重度化及び看取りに関する指針の内容を職員間で共有できるように努め、尊厳に十分配慮した終末期の介護を行えるようにしていく。	ご家族の意向を定期的に聞き取りをし、協力医や担当職員と話し合いの機会を持ち、結果をユニット会議において全職員に周知するように努める。現在の見取りのマニュアルを見直し整備する。積極的に「看取り」に関する研修に参加する。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。